

①ケアプランデータ連携システムの の活用について

②介護現場の業務改善のご提案



1. はじめに

こんなお悩み抱えていませんか？

書類を郵送したり、FAXを送ったり
することが面倒くさい...



手入力での作業が多く
転記ミスが多い...



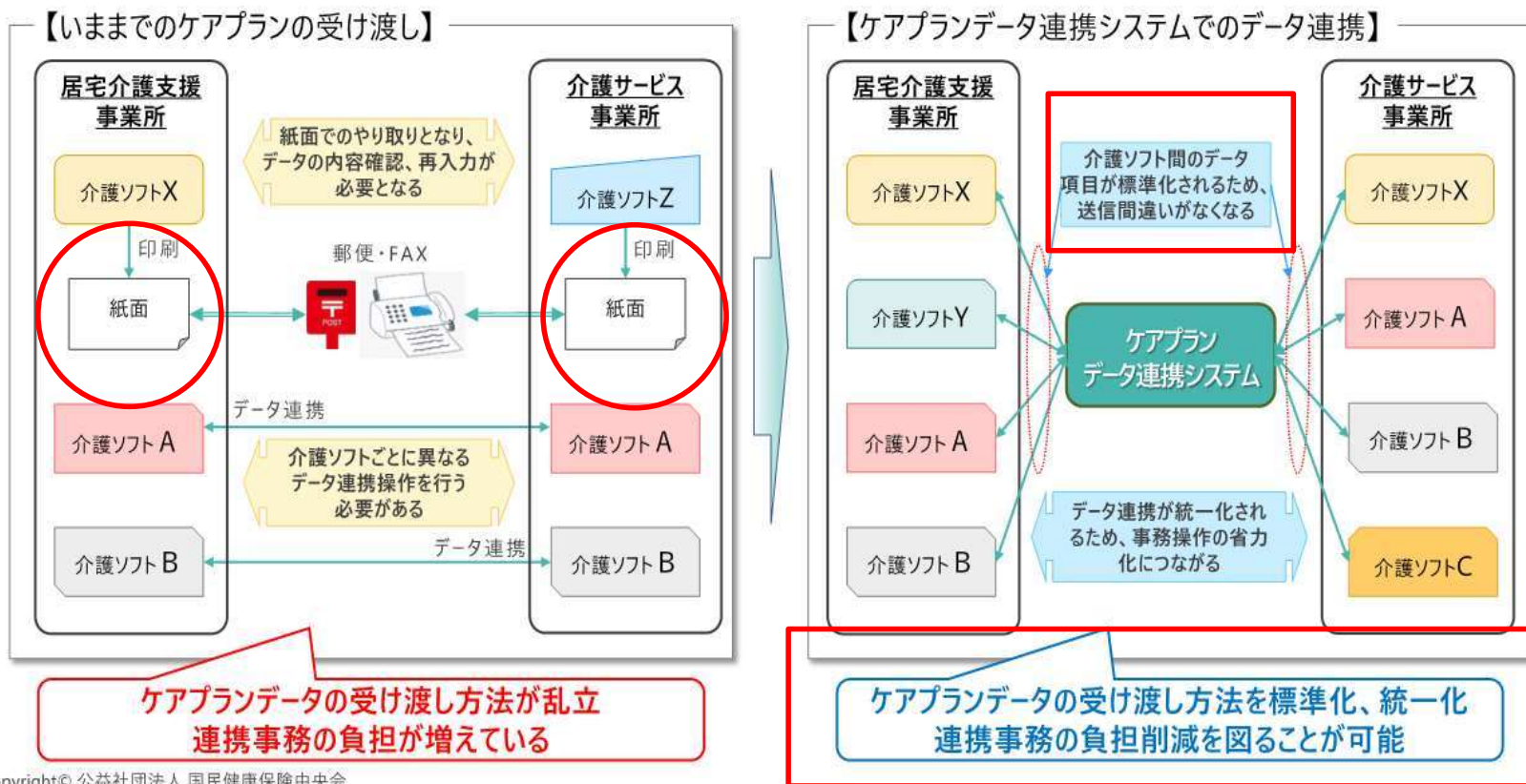
書類の管理と
やりとりが煩雑で混乱する...



面倒な提供票や計画表のやりとりを
効率化できます。

2. システム活用による効果

「ケアプランデータ連携システム」をご利用することで、**連携作業の標準化、一元化**が図れます。



【期待できる効果】

- ・記載時間の**削減**
- ・データ管理による文書量**削減**
- ・転記誤りの**削減**
- ・介護従業者の負担**軽減**

【効率化による相乗効果】

- ・利用者支援にかかる**時間増**
- ・ケアの質の**向上**

国保連伝送

請求に必要なデータをインターネットを経由で送信すること



事業所

伝送通信ソフト



請求ファイル



国保連

ケアプランデータ連携システム



居宅介護支援事業所

ケアプランデータ
連携システム

全国統一のケア
プランファイル



〇〇デイサービス



××ホームヘルプ



△△レンタル

システム導入によるメリット

- 転記、入力時間の減少、間違い防止
⇒時間外勤務、返戻エラーの減少
* 介護報酬改定の際に効果発揮？
- 紙、FAX用紙の削減
⇒FAXは倍の紙が必要、間違いの防止
- 事業所番号に送付され誤送信防止
- 移動時間、費用の削減
(持ち回り時間、郵送料、ガソリン代等の削減)

システム導入によるデメリット

- ライセンス料の負担
(年21,000円 月1,750円)
- 利用率が低いと業務煩雑
(現在5割 8~9割以上で軽減)
- 関係機関との関係作り
- システム浸透まで混乱
(2~3ヶ月位)

連絡方法を見直してみませんか？

	メリット	デメリット	使用する場面
電話	☆細かいニュアンスを伝えられる。 ☆温度感が伝わる。 ☆緊急の連絡ができる。	□相手の時間を拘束する。 □証拠が残らない。 □連絡がつきにくい。	●早急な日程調整。 ●細かいニュアンスを伝えたいとき。 ●相手の意見を聞きたいとき。 ●電話連絡しかできないとき。
メール	★内容を振り返ることができる。 ★相手の時間を拘束しないこと。 ★一斉送信できる。 ★ファイルの情報提供が簡単。	■温度感が伝わらない。 ■文章を作るのに時間がかかる。 ■ツールによっては、文字制限。	○急がない日程調整。 ○日常業務の報告、伝言。 ○就労のご家族への連絡・調整。 ○忙しいサービス事業所や職種等への連絡。

メールを活用してみませんか？

業務の現状

○電話対応（現在は電話連絡が主体...）

⇒お互いに不在で連絡が取れない
不在電話のキャッチボール、

⇒不在時にはメモ書き

①電話に出る②メモを書く③メモを見る④電話⑤お互いに記録等記載

○FAXでの連絡

⇒FAXの送信間違え多数、紙は2倍必要。個人ファイルが紙だらけ

業務改善の提案

○メールによる連絡で業務改善

⇒相手が不在でも連絡可能

⇒送信歴が確認できる。

⇒不在時のメモ書き不要
コピーして貼り付け

但し、利用者や家族への連絡は要注意

⇒支援の変更などは面接等により説明。ニュアンスが伝わりにくい

⇒文章として残るので、後にトラブルとなる可能性大